「Guilty Crown」の OP

The Everlasting Guilty Crown

世界は終わりを告げようとしてる だれにももう止められはしない ーーー始まる ははいの交響曲が鳴り響いて ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 ななみがいない。 降る雨はまるで涙の音色

かし 教えて

支配し支配され人達はいつかその心に憎しみをいつかその心に憎しみをそして愛することを思い出せずあらそ。

この歌が聴こえてる いのである全ての者よ 生命ある全ての者よ 真実はあなたの胸の中にある 動気の海を行く時も け決して臆することのない強さを くれるから

けれども進むほど風は強く 希望の灯はやがて消えていく 「明かりをよこせ」と奪い合い 果てに人は殺し合う なみだ。 深などとうに枯れて

^き づ 気付いて

その目は互いを認めるため その声は想いを伝えるため その手は大事な人と繋ぐためにある この歌が聴こえてる
世界中の寄る辺なき者よ
世界はあなたの胸の中にある
はかながいながながながいでも
はかながいながでも
はからながでも
はからながでも
はからながでも
はからながでも
はからながいでも
はからながら
ながっても
ながらして傷つくことのない強さを
くれるから

その手で守ろうとしたものは 愛する者だったのだろうか 変がく染まったその手を眺めて やっと自らがしてきた愚かさを が過ちと認めるその罪を とめどなくあふれるその涙を知る

この歌が聴こえてる 世界中の寄る辺なき者よ き希望はあなたの胸の中にある がなしみの夜を超える時 がなずあなたは生きていく強さを 持てるから